

課題番号 1

昭和 46 年度 技

課 題 名	高密路網の策定法および開設効果		
開 発 期 間	開始年度 45 年度 調査年度 46 年度 終了見込年度 49 年度		
開 発 担 当 者	熊本署 事業課長	緒方敬計(齊藤勝行)	
	宮崎 "	"	中山鹿八(青木茂幸)
所 属 氏 名	小林 "	"	中園伊三郎
経 費			
開 発 目 的			
1. 地形等自然条件に即した路網の密度と配置のあり方の解明 2. 国上保全との関連を考慮し低コストで施行する技術の開発 3. 高密路網を前提と機械化、薬剤化を中心とした施業体系の確立 4. 開設効果の解明			
開 発 計 画			
1. 対象団地、路網全体計画等			
	署 名	団 地	路網延長 路網密度
	熊 本	吉無田製品生産団地	23,900 ^m 89 ^m
	宮 崎	育井岳 "	30,400 85
	小 林	菓の浦 "	48,155 102
2. 開設効果			
(1) 開設効果の調査			
(2) 低コスト施工法			
(3) 支障木処理法			
営林局における開発結果の評価および普及計画の概要	路網開設にあたって、中急斜の地形については、林地ので試みているが、1 ^m 164円となっており、法面に種		

術 開 発 報 告 書

実 施 経 過			
1. 46年度開設延長			
	署 名	開設延長	経 費 m当単価
	熊 本	4,179 ^m	9,691千円 2,319 ^m
	宮 崎	5,310	7,812 1,481
	小 林	4,911	7,849 1,598
	計	14,400	25,352 1,761
※ 熊本署は45年度作設路網の砂利敷込、金網敷経費 4,041 ^{6,061} 千円			
2. 施 行 法			
	熊本署	全面火山灰土壌地帯で路面上は、金網敷込及砂利敷込実施	
	小林署	全面火山灰土壌で路面工はシラス敷込ならびに敷砂利実施(購入)	
	宮崎署	砂岩地帯であり、路面工は現場採取の砂利を使用	
開 発 結 果			
	密度	45年度	46年度
		延長/ha 密度	延長/ha 密度
熊 本		2,321 20,550^m 302 ^{ha}	17,600 24,729^m 302 ^{ha}
宮 崎		2,400 496 48	2,200 496 48
小 林		2,460 43 570	2,357 51 570
保全を考慮に入れた、法面緑化工を施す必要がある。植生袋の使用を宮崎署子吹付け等低コストの工法を検討の要がある。			

昭和48年度

技術開発報告書

熊本営林局

課題番号 1

課題名	高密路網の策定法および開設効果		
開発期間	開始年度	45年度	調査年度
	終了(見込)年度	49年度	48年度
開発担当者 所属氏名	所 属	職 名	氏 名
	熊 本 営	事 業 課 長	緒 方 敬 計
	宮 崎 署	〃	中 山 鹿 八
	小 林 署	〃	甲 斐 齊
経 費			
開 発 目 的			
適正な路網密度と合理的な路網配置を説明し国土保全に配慮した低コストの作設技術の開発を行ない各作業工程の連けいにおける開設効果を究明し高密路網を基盤とした施業体系の確立をはかる。			
開 発 計 画			
対象団地路網作設全体計画			
署 名	団 地 名	路 網 延 長	路 網 密 度
熊 本	吉 無 田	23,900 m	89 m
宮 崎	青 井 岳	30,400	85
小 林	巢 之 浦	48,155	102
営林局における開発結果の評価および普及計画の概要	伐採前1年以上の先行路体作設を実施して、捨土に伴う敷砂利の節減をはかる。		

実 施 経 過									
昭和48年度開設延長									
署 名 種 別	開設延長	経 費	単 価	備 考					
熊 本	2,381 m	11,933,921円	4,160 円						
宮 崎	1,500	5,791	3,860						
小 林	2,924	12,398	4,240						
計									
865 敷込									
開 発 結 果									
路網密度									
署 名	対 象 面 積	45年度		46年度		47年度		48年度	
		延長	密度	延長	密度	延長	密度	延長	密度
熊 本	302 ha	7,321 m	24 m	11,500 m	38 m	17,760 m	59 m	20,141 m	67 m
宮 崎	496	6,958	14	12,268	25	15,168	31	16,668	34
小 林	570	8,655	15	14,252	25	18,646	33	21,570	38
浮土砂の安定と法面の緑化を促し土砂流失を防止するとともに、自然転圧によ									

課題番号 No. /

昭和48年度 技術開発報告書

熊本官林局

課題名	高密度路網の策定法およびその開設効果			実施経過																																								
開発期間	開始年度 43年度 調査年度 48年度 終了(見込)年度 59年度			省略(開発結果のみ)																																								
開発担当 所属氏名	所属	氏名	氏名																																									
	宮崎官林署	署長	永野 司																																									
経費	十月																																											
開 発 目 的																																												
1. 地形等自然条件に即して路網密度と配置のあり方の解明。 2. 国土保全との関連を考慮し、低コストで施行する技術の開発。 3. 高密度路網を前提とし、機械化薬剤化を中心とした施業体系の樹立。 4. 開設効果の解明。																																												
開 発 計 画																																												
当署が昭和43年度より実行している高密度路網の計画は、当初製紙生産用地である青井山地に2.500HAを対象に30,000mの開設を行ない、将来既設路網も含めて約5000HAを目標にしているが、今後製紙生産事業の作業体系の変更に伴って、路網開設については消極的である。																																												
官林局における 開発結果の詳細 および普及計画の概要		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>延長 記</th> <th>支出金額</th> <th>単価</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昭和43年度</td> <td>1270m</td> <td>1,796,769^円</td> <td>1,415^円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>44</td> <td>400</td> <td>407,481</td> <td>1,019</td> <td></td> </tr> <tr> <td>45</td> <td>3669</td> <td>5,545,835</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>46</td> <td>5,310</td> <td>8,815,632</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>47</td> <td>2,900</td> <td>9,101,415</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>1,500</td> <td>5,790,763</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,049</td> <td>21,457,895</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>昭和43年度より昭和48年度までの開設総量15,049mと同一製紙事業主体に開設され、事業終了後は、造林費支辨のI級歩道とする。 各年度毎の路網開設数量は下記の通り。</p>			年度	延長 記	支出金額	単価	備考	昭和43年度	1270m	1,796,769 ^円	1,415 ^円		44	400	407,481	1,019		45	3669	5,545,835			46	5,310	8,815,632			47	2,900	9,101,415			48	1,500	5,790,763			計	15,049	21,457,895		
年度	延長 記	支出金額	単価	備考																																								
昭和43年度	1270m	1,796,769 ^円	1,415 ^円																																									
44	400	407,481	1,019																																									
45	3669	5,545,835																																										
46	5,310	8,815,632																																										
47	2,900	9,101,415																																										
48	1,500	5,790,763																																										
計	15,049	21,457,895																																										

課題名	高密路網の策定法および開設効果				
開発期間	開始年度 45 年度 調査年度 49 年度 終了(見込)年度 49 年度				
開発担当者 所属氏名	所 属	職 名	氏 名		
	熊 本 署	事 業 課 長	蛭 原 仁 平		
	宮 崎 署		甲 斐 憲 一		
	小 林 署		甲 斐 齊		
経 費					
開 発 目 的					
適正な路網密度と、合理的な配置を解明し、国土保全に配慮した、低コストの作設技術を開発し、各作業工程の連けいによる開発効果を究明し、高密路網を基盤とした施業体系の確立をはかる。					
開 発 計 画					
対象団地路網作設全体計画					
署 名	団 地 名	路 網 延 長	路 網 密 度	備 考	
熊 本	吉 無 田	2 3,9 0 0	8 9		
宮 崎	青 井 岳	3 0,4 0 0	8 5		
小 林	巢 之 浦	4 8,1 5 5	1 0 2		
営林局における開発結果の評価および普及計画の概要	50年度において、路網密度別の機械集材距離及び経費比較、造法、金網工法等)の手順書を作製する予定である。なお、近年急速なので、事業化には新規に試験地設定を検討する要がある				

実 施 経 過											
昭和49年度開設延長											
種別 署別	開設延長	経 費	単 価	備 考							
熊 本	2,5 0 6	7,7 0 7	3,0 7 5								
宮 崎	-	-	-								
小 林	3,3 3 0	1,7 0 7	5 1 3								
計	5,8 3 6	9,4 1 4									
開 発 結 果											
年度別路網延長及び密度											
署 別	対 象	45 年度		46 年度		47 年度		48 年度		49 年度	
	面 積	延 長	密 度	延 長	密 度	延 長	密 度	延 長	密 度	延 長	密 度
熊 本	302	7.321	24	11.500	38	17.760	59	20.141	67	22.647	75
宮 崎	496	6.958	14	12.268	25	15.168	31	16.668	34	16.668	34
小 林	570	8.655	15	14.252	25	18.646	33	21.570	38	24.900	44
目標達成率											
熊本署 84% 宮崎署 39% 小林署 43%											
林事業、林野管理に及ぼす有利性等を取まとめ、さらに開発された路面工法(シラス工にたかまつてきた自然保護の要請に対応するために、「作業道取扱要領」が定められた											